

# 日本列島の誕生を探る

## 日本最古の化石山形展

1980.10.25(土)～11.9(日)

主催 山形県立博物館

山形新聞・山形放送

後援 山形県教育委員会

### 開催にあたって

本展は、山形市出身で筑波大学大学院生の安達修子さんが、岐阜県で発見した貝形虫化石を展示します。

貝形虫化石は、古生代・オルドビス紀（約4億8千万年前）の化石で、日本列島の誕生を書きかえる大発見となりました。

開催にあたっては、筑波大学教授猪郷久義氏、安達修子氏、山形新聞社、山形放送はじめ各方面からのご協力をいただきました。

厚くお礼申し上げます。

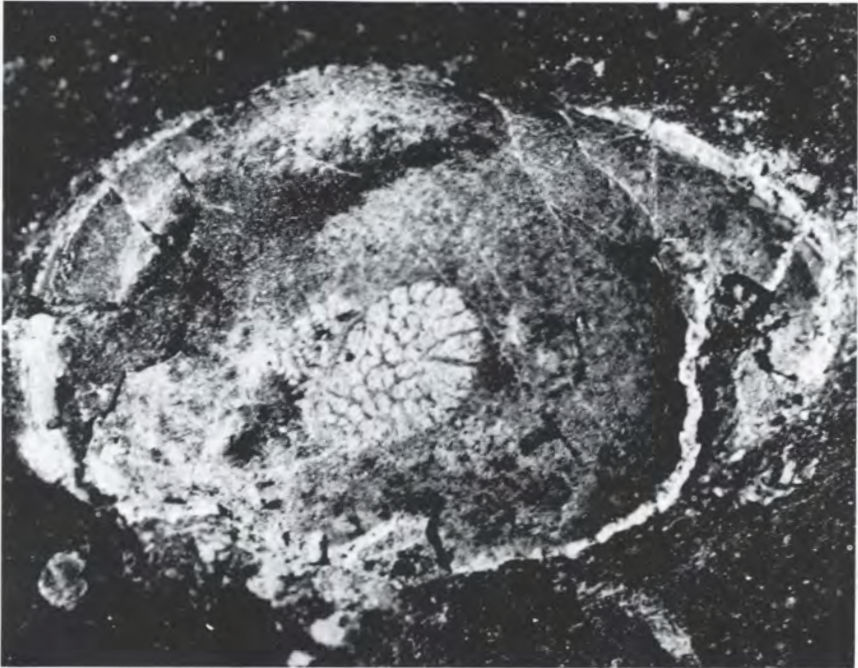
山形県立博物館長

## 貝形虫化石

貝形虫化石は、古生代・カンブリア紀（約6億年前）以降の地層から産出します。

日本ではこの仲間の化石が、飛驒山地の古生代・デボン紀（約4億年前）の地層、北上山地の石炭紀（約3億5千万年前）の地層、中生代の地層、新生代の海成層から多く産出することが知られていました。

このたび、安達修子さんが、岐阜県の飛驒山地で発見した貝形虫化石は、古生代・オルドビス紀（約4億8千万年前）の化石であることが判明しました。これまで、日本最古の化石として知られていた、北上山地などの古生代・シルル紀（約4億3千万年前）の地層から産出したクサリサンゴやハチノスサンゴ化石よりさらに古いもので、日本最古の化石です。



### 貝形虫類 (Ostracoda)

節足動物の甲殻類の1亜綱に属する小型の水生動物です。

一般に、石灰質の二枚の殻を持ち、その背縁にそって、蝶番（ちょうつがい）が発達しています。大きさは、大型のもので数cmのものも知られていますが、普通は、0.4~1.5mmぐらいです。

現在、この仲間は、海域から陸水域に生息しています。防波堤近くの海面に、小さな青白い光をちりばめて、浮き沈みするウミボタルもこの仲間です。